

2018年5月31日

200名未満向け 全社一斉 経営損失回避パック：提供開始

当法人は、企業内に潜在し表面化していないメンタル不調による損失を回避するサービスを提供し始めました。企業にとっての生産性向上、社員にとっては健康維持・家族を守るためのパックです。

キーワード：経営リスクを排除、仕組みの形骸化は損失、会社・社員・家族の心の安心を提供

背景：記録的な人材不足の局面、在職社員の生産性低下や休職の増加により経営を圧迫

厚労省の試算：休職者1名あたりの損失は1,490万円/年

ストレスチェック実施結果：実施9割、職場環境改善6%

よって、休職離職の増加、勤務時の生産性低下を招き、時には幹部や優秀な人材も失う

経営損失回避パックの内容

1. 経営トップのメッセージの作成、周知徹底（最重要）
2. 社内ルールの見直し
3. 実態の把握（サービスの例：損失実態調査サービス（別紙））
4. 教育（経営トップに始まり、幹部、中間管理職、一般社員、全員）
5. 社内ルール、教育の周知徹底
6. 相談窓口設置・運用
7. 再発防止策の策定

本サービスの特徴：

- ① 経営トップが関与する企業のみサービスを提供
- ② あえてアンケートを行わず、インタビュー形式を採用、本音に近い結果を得る
- ③ 教育の提供はほんの一部です、対策一式お請けすることが価値です

実体験（未対策だった企業）：14名の社員が一年で退職した、社員が混乱し業績低迷、ハラスメントの管理職が野放し、部下が疲弊、労働時間過少申告強要、うつ病で退職、家族バラバラ家庭崩壊、パワハラ・セクハラ訴訟、メンタル不調要因で死亡事故発生

対策実施の企業の例

2名の休職回避、パワハラ減り業績上昇、教育により安心して働ける職場環境へ
上司・同僚のサポートを得て治療に専念、時間外過少申告（143時間/月）改善
なによりも社員が社長に本音を言ってくれるようになったことが嬉しい（社長の声）

こんな人に人気です：リスク管理や時間・金銭的損失の重要性を意識している社長・経営トップ。

費用概算：社員数：140名、支援期間：13ヶ月、教育研修14回、報告書込み 260万円（税抜）

販売目標：2018年度、県内17企業へサービス提供、2020年度には県内110社へ提供する。

以上

【お問い合わせ先】

拠点設置先：〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10 仙台北辰ビル

（社）ジョイントベンチャー実践支援機構 代表理事 高橋弘

電話番号：050-6865-3135 / 090-7525-5021 e-mail：hirotaka@omakasestresscheck.jp

どうぞ遠慮なくお問い合わせください。